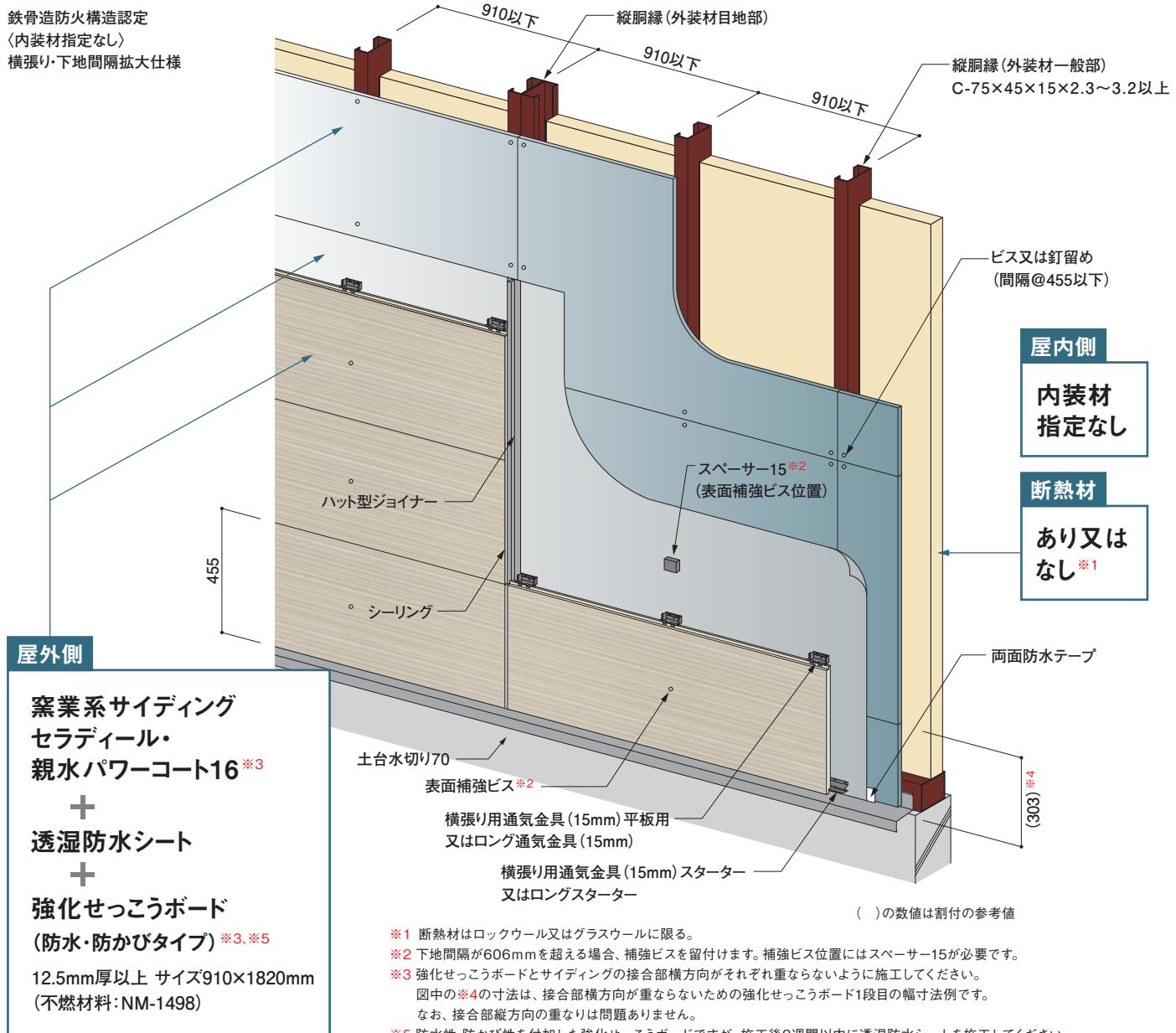


# 屋内側被覆が不要な省施工の外壁防火構造認定

- ・最大910mm\*の下地間隔で工期短縮＆コスト削減。 ※下地間隔が606mmを超えて910mm以下の場合、表面ビス留め補強が必要になります。
- ・シンプルな内装仕上げの工場、倉庫、店舗、事務所などにおすすめ。



## ■認定概要

認定区分		適用商品(横張りのみ)	認定番号	断熱材 ロックウール・グラスウール又はなし	外装材の表面補強ビス
防火構造	外壁 (非耐力壁)	セラディール・ 親水パワーコート16	PC030NE-3915(1)	なし	W≤606 :不要 606<W≤910 :必要 (W=下地間隔)
			PC030NE-3915(2)	あり	

## ■外装材の設計耐風圧性能値と耐風補強工法

下地間隔(C形鋼の間隔)を606mm～910mmとした場合の設計耐風圧性能値はWEBサイトにてご確認ください。  
標準工法では性能値が不足する場合、又は施工高さが16mを超える場合は耐風補強工法とします。

詳しくは外壁 防耐火構造認定サイトの  
鉄骨造防火構造認定<内装材指定なし>ページをご覧ください。



商品に関するお問い合わせは、ケイミューホームページからお願ひいたします。

<https://www.kmew.co.jp/inquiry/>

2025.11

ケイミュー株式会社